～宮大生のための交換留学～

スロベニア・リュブリャナ大学からのレポート

教育文化学部　初等教育コース　3年　杉田真菜

〇留学先：スロベニア/リュブリャナ　・　University of Ljunljana/Faculty of education

〇留学期間：2017 年 10 月～2018 年 7 月(前期 10 月 1 日～2 月中旬、後期 2 月下旬～7 月初旬)

〇生活費：1 ユーロ＝132 円
渡航費：往復　約 14 万円（ターキッシュエアライン・イスタンブール経由）
寮費：200 ユーロ（＝26,400 円）/月　（180 ユーロ＋管理費 20 ユーロ）
食費：150 ユーロ（＝19,800 円）/月
※studentski boni というシステムがあり、スロベニアの学生であれば 1 食 2～3 ユーロで食べることができます。
携帯代：10 ユーロ（＝1,320 円）/1.5GB〔A1 slovenia〕※EU 圏内で使用可能
バスカード代：20 ユーロ（＝2,640 円）/月

〇寮の環境：
1 部屋に 2 人部屋が 2 つあり、キッチン・トイレ・シャワーは 4 人で共有します。部屋には机、ベッド（マットレス、シーツ、布団）、棚、クローゼットなど、生活に必要なものは揃っています。シーツは定期的に交換できます。だいたい 2 週間に 1 回です。寮には洗濯機 4 台と乾燥機 2 台があり、無料で使えます。**平日はハウスキーパーがいるので、何か問題があれば対応してくれます。**

〇大学のサポート状況：
教育学部には International office があり、留学生の授業変更手続きやスロベニア政府の奨学金の受け渡しなどは全てここが行なっています。カウンセリングルームもあり、困ったことがあれば相談することができます。チューターは希望すれば紹介してくれますが、私はスロベニア人の知り合いがいたため希望しませんでした。日本語学科より、日本語のできる学生を紹介していただくことも可能です。

〇授業の様子：
基本的に、授業は留学生向けに開講されている授業を取っています。全て英語で行われます。ディスカッションなどの活動的な授業が多く、自分の意見や経験をシェアする授業が多いです。課題はこれまでとあまり変わりません。先生もネイティヴではないので、生徒の負担を考えた量に課題を出してくれます。ある授業では、座るところも自由で自分のリラックスできる格好をしていいので、机の上に座ったり床に座ったりと、かなり自由です。

〇他の留学生たちの様子：
クラスメイトには、クロアチア、ポーランド、チェコ、スペイン、イタリア、トルコ、フィンランド、オランダ、ポルトガル、ドイツ、韓国からの留学生がいます。特にスペインとトルコからの留学生が多いです。同じ国から来ていても英語で話している場面を多く見かけます。スロベニア語とクロアチア語、イタリア語とスペイン語、違う言語なのに通じている、という不思議な場面もよくあります。

〇現地学生との交流：
現地学生とは寮でのパーティーや日本語学科の授業を通して交流があります。学部内では、授業が留学生用とスロベニアの学生用に分かれているのであまり関わることはありませんが、

International dishes といったイベントを通じて仲良くなることができます。

〇街の様子:
寮から街の中心までバスで 5 分、徒歩 20 分程度です。街は大きくなく、コンパクトです。とても綺麗な街で、特に街の中心にある Ljubljanski Grad というお城を眺めながらのカフェは最高です。多くのお店で英語が通じるので、生活で不便に感じることは何もありません。天気は年によって大きく異なるようですが、今年は雨が少なく晴天が続いています。冬はとても寒く、雪が積もります。買い物は Mercator, Hofor といったスーパーマーケットで買い物をします。日本に比べると物価は安いか同じくらいだと思います。私の通っている教育学部は少し遠く、バスで 20～30 分のところにあります。希望すれば学部の隣にある寮に入ることもできます。

〇その他:
スロベニア政府機関 CMEPIUS から月 296 ユーロ（＝円）の奨学金を貰っています。寮費（管理費含む）、保険料（スロベニアの病院を無料で受診可能）は全て CMEPIUS より支払われているので、食費以外に大きな出費はありません。スロベニアに来て自炊等で節約しているので、生活費がほとんどかかっていません。その分ヨーロッパ各地を旅行する資金にしています。中欧に位置しているため、週末を利用してさまざまな国や場所を旅行しています。日帰りでザグレブに買い物に行く、なんてことも。12 月はクリスマスマーケットで賑わっています。